

新宿区平和都市宣言

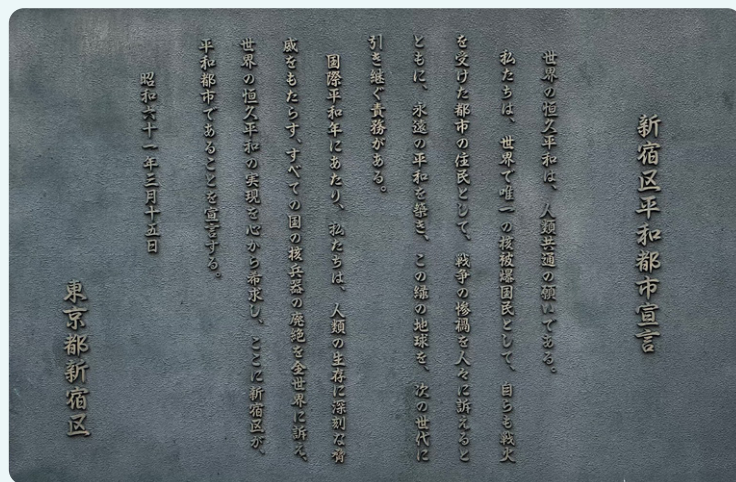
世界の恒久平和は、人類共通の願いである。

私たちは、世界で唯一の核被爆国民として、自らも戦火を受けた都市の住民として、戦争の惨禍を人々に訴えるとともに、永遠の平和を築き、この緑の地球を、次の世代に引き継ぐ責務がある。

国際平和年にあたり、私たちは、人類の生存に深刻な脅威をもたらす、すべての国の核兵器の廃絶を全世界に訴え、世界の恒久平和の実現を心から希求し、ここに新宿区が、平和都市であることを宣言する。

昭和61年3月15日

新宿区



宣言記念板

新宿区平和都市宣言 40周年記念誌の発刊にあたって



新宿区は、すべての国の核兵器廃絶と世界の恒久平和を願い、昭和61年3月15日に平和都市宣言を行いました。この度、平和都市宣言から40年の節目を迎えました。

平和都市宣言には、自らも戦火を経験した都市の住民として、戦争の惨禍を人々に訴え、永遠の平和を築き、次世代に引き継ぐことが私たちの責務であると記されています。

戦後80年が経過し、戦争は昔の出来事で自分とは関係ないと感じている人が増えているのではと不安になる時があります。そして、実際に戦争を体験された方々が年々少なくなっている中、具体的な戦争体験談集を編纂し、次世代に継承しなくてはならないと考え、戦争体験談集を作成しました。

体験談集の作成にあたっては、多くの戦争体験者から証言を募り、70名以上の貴重な体験を収めることができました。お寄せいただいた体験記には、出征時の様子や空襲の恐怖、当時子どもだった体験者の学校生活、学童疎開の様子、食事、感情、未来の子どもたちへの思いなどが語られています。

この戦争体験談集は、次の世代を担う若い世代が学び、感じ、継承しやすいようデジタル版で作成しました。また、戦争体験者が当時の様子を語る映像もご覧いただけるようにしました。ぜひご活用いただき、次の世代へも継承していただけますよう心から願っております。

今後も区は、すべての国の核兵器廃絶を訴え、世界の恒久平和実現に向けて平和の啓発普及活動に取り組み、世界に向けて平和の大切さを発信し続けます。

ここに、貴重な戦争体験を語り綴^{つづ}ってくださった方々、そしてこの記念冊子の発行にご協力いただいた皆様に、あらためて感謝申し上げます。

令和8年3月15日
新宿区長 吉住 健一